

## はじめに

障害者雇用の状況は、障害者雇用促進法の改正や企業の障害者雇用の意識の高まり等により、毎年雇用者数の拡大が続いており、平成27年6月時点での雇用者数・雇用率は、全国・東京都ともに過去最高を記録した。都内民間企業の雇用者数で見ると、約16万6千人となっており、雇用率は1.81%となった。障害種別構成比では、身体障害者74%、知的障害者18%、精神障害者8%となっているが、前年比伸び率では、全体で昨年比5%の伸びとなっている中、精神障害者は前年比22%増と他の障害に比べて高い伸びを示している。

こうした中、当事業団においては利用者の増大とともに障害の多様化により、きめ細かな支援がますます求められており、平成27年度も職員能力の向上や関係機関との緊密な連携を図ることなどにより対応してきたところである。

当該年度、杉並区から受託した障害者就労支援センター事業については、利用登録者は868人となり前年度比8.9%の増であった。障害種別構成比では、身体障害者が11.2%、知的障害者が41.4%、精神障害者が48.3%となっており、その内52.1%が定着支援対象者となっている。また、新規就職者は66人で、前年度比6.5%増であり、その内63.6%が精神障害者であった。障害者総合支援法に基づく就労移行支援事業では、利用者数はプログラムの充実や学校、企業、関連機関への積極的な事業紹介などを行った結果、前年度比13.9%増の利用者を確保することができた。

その他、発達障害者を対象とした本人・家族交流会、パソコンのスキルアップを目指す者に対するパソコン講習会を新たに実施した。また、積極的な企業訪問等により職場体験実習の場の拡大や、特別支援学校との連携強化により実習・体験学習受け入れ学校数の増加が図られた。

さらに、利用登録者の中から、これまでに就職した方に対して調査票による調査を実施し、現況や支援サービスの満足度、今後のニーズなどの把握に努めた。

また、職員の能力向上の取り組みとして、他機関・団体の実施する各種研修への積極的な職員派遣や専門職を招いてのケースカンファレンスの充実などを行うとともに、障害者差別禁止や合理的配慮に関する研修会などを開催した。

## 事業実績

### 1 障害者に対する就労支援及びこれに伴う日常生活又は社会生活上の支援

(第1号事業)

#### (1) 就労相談

区市町村障害者就労支援事業の実施に伴い、就労支援コーディネーター及び生活支援コーディネーターを配置し、就労移行支援事業との連携を図りながら就労相談業務の強化を図った。また、就職を希望する者及び現に就労している者に対し、就労に関する情報の提供を進め、日常生活面を含めた職業生活を送るための幅広い相談業務を実施した。一方で、就労準備の前段階として区内福祉施設等の利用が望ましい方には、施設情報などを利用者のニーズに応じて提供した。

10,469件	内訳	電話等相談	4,800件
		来所相談	2,095件
		訪問等	3,574件

#### (2) 職業評価

身近な地域で短期間の職業評価を受けたいという地域のニーズに応え、東京都障害者職業センターのバックアップを受け当事業団において、区委託による職業評価事業を実施した。

この事業により、区内の就労を希望する障害者が、職業評価を利用しやすくなるとともに、障害者を支援する職員が職業能力・適性、就労面での課題等を評価・把握する職業評価を身近なサービスとしてとらえてもらえるようになり、個人の状況に応じた支援計画の策定及び就労に向けた支援を地域で円滑に実施できる環境整備につながった。

また、区委託による「就労系福祉サービスの利用に係る職業評価」を実施した。

区委託の職業評価実施人数	26人
(うち就労系福祉サービスの利用に係る職業評価10人を含む)	

#### (3) 登録制による就労・生活支援

在宅や福祉施設に在籍する就労希望の障害者、就業していて定着支援あるいは転職を希望する障害者などを対象に、企業開拓で確保した企業体験実習や企業内実習を活用した就労支援、区役所実習や委託訓練等の諸制度を活用した就労支援、個別相談の手法による就労支援、就労移行支援事業を活用した就労支援などの就労面の支援と福祉事務所、保健センター、相談支援事業所等との連携による生活面の支援を一体的に行った。

また、就職後の不安や悩みの解消、ビジネスマナーの再学習、働く障害者の余暇の充実を目的とした余暇支援事業として、就労継続中の障害者を対象とした月2回(原

則として第2・4金曜日オフタイム)の「ワクサポ広場」を実施した。さらに就労継続中の知的障害者を対象とした「交流会」を年2回実施した。

就労継続中の精神・発達障害者を対象とした「茶話会」を年2回実施した。今年度より、就労継続中の発達障害者本人と家族を対象にした「交流会」を試行的に実施した。また、就労継続中の障害者の中でパソコンのスキル向上を目指す者に対して、パソコン講習会を実施した。

当該年度の新規登録者	84人
年度末の累積登録者	868人
就職者数	66人
	(就労移行支援事業利用者11人を含む)
定着支援対象者	453人
定着支援件数	9,069件
余暇支援事業	ワクサポ広場(障害者向け) 557人(24回開催)
	交流会(知的障害者向け) 53人(2回開催)
	茶話会(精神・発達障害者向け) 28人(2回開催)
	本人・家族交流会(発達障害者向け) 9人(1回開催)
	パソコン講習会(障害者向け) 23人(6回開催)

#### (4) 就労の場の開拓

障害者(知的・精神)のための就職準備フェアの開催

主催：新宿区勤労者・仕事支援センター、中野区障害者福祉事業団  
杉並区障害者雇用支援事業団、新宿公共職業安定所  
東京障害者職業センター

後援：新宿区、中野区、杉並区

日時：平成27年12月15日(火)13:30~15:45

場所：東京新卒応援ハローワーク出会いのフロア(小田急第一生命ビル21階)

内容

第1部では東京障害者職業センターの職業カウンセラーによる就職準備講座を障害別に行い、「就職に向けての心構え」をテーマに講話を実施した。

第2部では「企業担当者と働いている人からのメッセージ」と題して、企業担当者、就労継続中の障害者、支援者による講話を障害別に行った。

参加者数 119人

実習・雇用の場の確保

就労支援コーディネーター及び地域開拓促進コーディネーター等を配置し、求人票や就職面接会、就労支援機関からの情報を基に、企業を訪問し職場開拓を行った。また、週1回の職員ミーティング等を活用して職場開拓の情報を職員全員に周知し、職場の開拓と企業実習の場の確保に事業団職員全員が取り組んだ。

企業数	区内	35社
	区外	148社
訪問件数	延べ	1,199件

#### (5) 職場体験機会の提供

区内の福祉施設利用者や地域の在宅者等で就職を希望する障害者が、仕事への自信を持ち、就職への意欲を高められるように、企業開拓で確保した企業や区役所等での職場体験実習を実施した。

また、区内福祉施設・特別支援学校等から実習生を受け入れ、事業団で実施している就労移行支援事業での実習を通して職業能力・適性の把握、職業意識・就労意欲の向上を図った。

#### 職場体験実習（杉並区内）

	実習場所	実習内容	実習の時期	実習者の数
体験型	商店街（2か所）	のぼり旗立て、イベント会場設営・片付け、販売補助等	4月～2月 (各数日間)	46人
	〃（パン屋）	器具清浄、製造補助	6月 (1日間)	1人
	高齢者施設（ゆうゆう館）	施設内清掃、受付補助等	11、12月 (10日間)	1人
	体育施設（カエコナー）	開店準備、テーブル拭き、接客	6月 (3日間)	1人
	〃（清掃）	外回り清掃	1月 (1日間)	1人
	コモン計画研究所	事務補助、軽作業	8、9、11、 12、1月(各 1～5日間)	5人
ステップ型	区役所（本庁舎）	封入、丁合、テーブル拭き、シール貼り、スタンプ押し、リフレットの仕分け等の軽作業	6、7、8、 11、12、1 月(各8～9 日間)	6人
	中央図書館（区）	返却された本を保管庫の書架へ戻す等の軽作業	9、10、1、 2月(各8～ 9日間)	4人
実践型	杉並区社会福祉協議会	タックシール貼り、会報発送業務等の軽作業	5月～3月 の奇数月 (各5日間)	6人
	阿佐谷図書館	本棚の清掃、スタンプ押し等の軽作業	5、6月 (5日間)	2人
	コモン計画研究所	事務補助、軽作業	6、7、9、2 月(各9～ 180日間)	4人

特別支援学校等生徒の実習・体験学習の受入

学 校	学 年	実習の時期	実習者数
井草中学校 (特別支援学級)	3年生	9月7日～11日(1人) 9月28日～10月2日(1人)	2人
阿佐ヶ谷中学校 (特別支援学級)	3年生	7月6日～10日(2人) 7月13日～17日(1人) 11月30日～12月4日(2人) 12月7日～11日(2人)	7人
大宮中学校 (特別支援学級)	3年生	11月9日～13日(1人) 11月16日～20日(1人) 11月30日～12月3日(1人)	3人
中野特別支援学校 (高等部)	3年生	10月23日～27日(1人) 11月2日～6日(1人)	2人
練馬特別支援学校 (高等部)	2年生	10月5日～9日(1人)	1人

2 事業主に対する雇用管理に関する事項についての相談助言等の支援

(第2号事業)

(1) 情報の提供

情報提供

ハローワーク新宿主催の「障害者雇用促進セミナー」など新規の企業開拓及び企業実習の開拓、地域の商店街行事への参加、障害者雇用を実施している職場訪問等の際に、事業団のパンフレット等を持参し、障害の理解と障害者雇用等の理解を得るための資料として活用した。

個別相談

区市町村障害者就労支援事業の実施に伴い、就労支援コーディネーター及び地域開拓促進コーディネーターを配置し、就労移行支援事業との連携を図りながら、障害者を雇用している、又は雇用する意向のある事業主に対し、障害者の雇用・職場定着に関する助言、仕事の切り出し、雇用職場の環境整備、その他の助言・援助を実施した。

相談件数 1,190件

(2) 企業向けセミナーの開催

主に区内の事業主、近隣の事業主等に対し、障害者を雇用するにあたっての関連事項についてのセミナー(一部、交流会を含む)を開催し、障害者雇用の理解を深めることにより、障害者雇用の促進と就業障害者の職場定着を図った。

## 企業向けセミナー・交流会

実施日	平成28年3月4日(金)
対象者	企業の人事担当者及び地域の障害者施設等の関係職員
場 所	ワークサポート杉並 会議室
テーマ ・ 内 容	障害者雇用推進に向けた「障害者の雇用支援と配慮」について ・講演 ・交流会(参加者による情報交換会)
講 師	ハローワーク新宿 就職支援ナビゲーター リゾートトラスト株式会社 事務支援課長
参加者	14人

### 3 障害者就労に関する情報の収集提供及び普及啓発(第3号事業)

#### (1) 情報の提供

以下の4項目の他、地域や一般企業向けにパンフレット類を発行し、職業リハビリテーションに関する情報の提供に努めた。

また、関係機関等で実施されるセミナーの講師として事業団職員を派遣し、障害者雇用支援事業団事業の説明、都・区内の障害者雇用の現状と職業準備性の向上などの雇用支援にかかる情報を提供した。

ワークサポートだよりの発行

隔月発行とし、その時々タイムリーな情報の提供に努めた。

・「ワークサポート杉並だよりの」・事業団の活動状況等を紹介する広報紙

発行部数 1回 1,350部 6回発行

事業団ホームページの運営

- ・全面リニューアルを行い、障害者と企業担当者等に向けて、事業団の活動内容、活動状況を紹介した。
- ・就職相談会の紹介等、イベント等の情報提供に努めた。
- ・「みんながんばれ」コーナーと「会報(ワークサポート杉並だよりの)」アーカイブページを開設し、バックナンバーを見ることができるようにした。
- ・事業団活動の情報開示の一環として、事業計画書・収支予算書、事業報告書・決算書等の資料を掲載した。

セミナーの開催

下表の内容でセミナーを開催し、障害者やその家族、作業所や相談事業所などの関係職員、一般企業の社員等が障害者の就労について考える機会を提供し、障害者の雇用に関する普及啓発を行った。また、事業団の活動内容を紹介した。

企業向け普及啓発セミナー  
 (企業向けセミナー・交流会(P.6)の内容を再掲)

実施日	平成28年3月4日(金)
対象者	企業の人事担当者及び地域の障害者施設等の関係職員
場 所	ワークサポート杉並 会議室
テーマ ・ 内 容	障害者雇用推進に向けた「障害者の雇用支援と配慮」について ・講演 ・交流会(参加者による情報交換会)
講 師	ハローワーク新宿 就職支援ナビゲーター リゾートトラスト株式会社 事務支援課長
参加者	14人

ワークサポートセミナー2015(区民向けセミナー)

実施日	平成27年11月28日(木)
対象者	一般区民、障害者就労関係機関・作業所職員、障害者の家族
場 所	杉並区役所 第4会議室
テーマ ・ 内 容	障害者雇用と企業理念について、障害者の方と共に働くために ・講演 ・質疑応答
講 師	株式会社ファーストリテーリング 総務・ES推進部職員
参加者	46人

地域の支援者向けセミナー(雇用支援ネットワーク会議(P.10に掲載)としても実施)

実施日	平成27年 5月12日(火)      平成27年12月 8日(火) 平成27年 6月 9日(火)      平成28年 1月12日(火) 平成27年 7月14日(火)      平成28年 2月 9日(火) 平成27年11月10日(火)
対象者	地域の障害者通所施設職員、相談支援事業所職員、関係職員
場 所	ワークサポート杉並 会議室
テーマ ・ 内 容	すぎJOBにおける「就労支援状況」について ハローワークから見た「企業が望む人材等と障害者雇用の現況」など 障害者就業・生活支援センターの事業概要と精神障害者の就労支援事例 等について(第1回) " (第2回) 高次脳機能障害者の復職に向けた関係機関と連携した支援事例について トスカの事業概要と発達障害者の支援事例について 障害者差別の禁止・合理的配慮のポイントと事例について
講 師	杉並区就労支援センター 統括 ハローワーク新宿 雇用指導官 アイ-キャリア センター長 " 杉並区地域生活支援担当 東京都発達障害者支援センター 主任支援員 特定社会保険労務士
参加者	22人      22人      22人      22人      18人      22人      48人

## 家族向けセミナー・交流会

実施日	平成27年11月19日(木)
対象者	障害者の家族、地域の障害者通所施設職員、相談支援事業所職員、関係職員
場 所	ワークサポート杉並 会議室
テーマ ・ 内 容	首都直下型地震から大切な人を守る知識と技術について ・講演「震災への備え、震災時の対応、震災後の過ごし方」など ・実技「応急手当のやり方」など
講 師	日本赤十字社 東京都支部救護課講習係職員
参加者	27人

### その他普及啓発

「福祉会館まつり」、「杉並区障害者週間事業」のイベントの他に、地域の事業活動にも参加し、事業団活動や障害者の雇用促進について普及啓発を行った。

実施日	イベント名	会 場	内 容
10月17日(土)	福祉会館まつり	障害者福祉会館	・障害者団体・施設紹介パネルの展示 ・模擬店出店による事業団のPR
11月30日(月) ~ 12月6日(日)	杉並区障害者週間事業	区役所等	・障害者団体・施設紹介パネルの展示 ・障害者団体・施設紹介ビデオの上映
12月10日(木) 17日(木) 24日(木) 1月7日(木)	地域美化事業 支援活動 (清掃実習)	下高井戸 八幡神社	・境内の清掃の手伝い

## (2) 就労情報の収集

月に2回、公共職業安定所に出向き就職情報の検索及び収集を行うとともに、同所の提供する求人情報をオンラインで受ける環境を整備した。新宿公共職業安定所、中野区障害者福祉事業団、新宿区勤労者・仕事支援センター、中野特別支援学校等と情報交換を行い、就職と実習の受入を希望する企業情報を収集した。

また、他の就労支援機関と一緒に企業訪問を行うことにより、より広域の情報を入手することができた。新聞折りこみの求人ちらし、インターネットで検索できる一般求人情報も参考にした。

さらに、広域の就労支援機関連絡会等に積極的に参加し、意見交換や情報の収集を行った。

## (3) 職域開拓及び研究

担当制による開拓作業を実施したほか、職場訪問の情報を週1回の職員ミーティングで報告し、開拓方法等を検討した。

また、発達障害者の就労準備等の支援を行う専門機関を見学し、効果的な支援方法について研究した。



#### (4) 利用者等を対象とした調査・研究

平成27年度就職者を対象に、就労に至るまでの過程で有効な支援を提供できたか、今後どのような支援を希望するか等についての顧客満足度調査を実施した。

実施方法：年4回、四半期ごとに就職者を集計し調査票を送付

送付数 54件

回収数 30件（回収率55.6%）

数値は平成27年12月末現在

平成26年度末までの就職者を対象に、現況、定着支援状況、今後の支援希望内容等について調査した。

実施方法：平成28年1月末に調査票を一斉送付

送付数 367件

回収数 186件（回収率50.7%）

### 4 地域における人材育成等、障害者就労支援の体制基盤づくりに関する支援

（第4号事業）

#### (1) 区内福祉施設等における一般就労促進への支援

区内福祉施設等に在籍している障害者の企業等への一般就労を促進するため、各施設等を定期的に訪問し、企業等への就労に向けた支援を施設職員と連携して実施した。特別支援学校に対しても、卒業前に行う企業実習期間において、職場訪問等に事業団職員が同行するなど、特別支援学校の活動に協力をして連携を強化した。

また、区内中学校の特別支援学級の授業、保護者会にも参加し、出張方式による事業団のPRと「就労の準備性についての講義」を行い、将来の利用者確保等に向けた啓発活動に努めた。

さらに、杉並区就労支援センター（すぎJOB）に定期的に訪問、事業説明をするほか、今年度は新たに一般の大学等にも訪問などを行い、事業団の周知と新たな利用者の確保に努めた。

施設訪問等	延べ	605件
特別支援学校への協力	延べ	16件
特別支援学級説明会	延べ	1回
すぎJOB説明会	延べ	2回
すまいる菝窪説明会	延べ	1回
一般の学校等への周知	延べ	23件

#### (2) 雇用支援ネットワークの活用

障害者の就職及び職場定着のための支援を地域で効果的に行うため、区内の作業所、相談支援事業所、公共職業安定所、特別支援学校等に所属する職員で構成された実務担当者による雇用支援ネットワーク会議を月例で開催した。

また、希望する関係機関には、障害者雇用情報のFAXによる随時提供のほか、障

害者の就職活動に必要な着眼点や技法を学ぶために企業見学・事例検討・各種研修等を実施し、地域の支援力のスキルアップに努めた。

雇用支援ネットワーク会議実務担当者会(実務担当者会 11回・企業見学会 1回開催)

27年度の実施目標		支援体制づくりと支援力の強化	
回数	実施月 (毎月第2火曜日)	内容	参加人数
第1回	4月	・平成27年度区役所実習等の説明について ・平成27年度実施計画について ・近況報告、連絡事項	22人
第2回	5月	・すぎJOBにおける「就労支援状況」について <杉並区就労支援センター> ・企業見学会(8月)についての見学先候補の検討	22人
第3回	6月	・ハローワークから見た企業が望む人材等と障害者雇用の現況について <HW新宿> ・企業見学会(8月)についての見学先の検討 ・近況報告、連絡事項	22人
第4回	7月	・障害者就業・生活支援センター アイ-キャリアの事業概要と精神障害者の就労支援事例等について <アイ-キャリアセンター長> ・企業見学会(8月)の案内について	22人
第5回	8月20日 企業見学会	・佐川急便(株)東京本社の障害者雇用の現状を視察	18人
第6回	9月	・企業見学会(8月)の振り返りについて ・職場定着支援の事例検討について ・近況報告、連絡事項	21人
第7回	10月	・就労支援における困難事例の検討について ・施設間情報交換について	16人
第8回	11月	・障害者就業・生活支援センター アイ-キャリアの事業概要と精神障害者の就労支援事例等について <アイ-キャリアセンター長> ・近況報告、連絡事項	22人
第9回	12月	・「高次脳機能障害者の復職に向けた関係機関と連携した支援事例」の検討について <杉並区地域生活支援担当> ・近況報告、連絡事項	18人
第10回	1月	・トスカの事業概要と発達障害者の支援事例について <東京都発達障害者支援センター主任支援員> ・企業紹介 ・近況報告、連絡事項	22人
第11回	2月	・障害者差別の禁止・合理的配慮のポイントと事例検討について <特定社会保険労務士> ・各機関・施設等のパンフレット等のご提供などについて	48人
第12回	3月	・平成27年度の振り返りについて ・平成28年度の取り組みについて ・近況報告、連絡事項	18人

### (3) 研修会への参加及び実施

指導員研修（高齢・障害・求職者雇用支援機構主催）

職業リハビリテーションに係る情報の提供及び相談、ネットワークの技法、その他障害の特性の理解とその援助の方法について専門的に学び、就労支援を効果的かつ効率的に行うため職員が参加した。

参加職員 13人

指導員研修（雇用支援事業団主催）

事業団・区内作業所等における就労支援機能強化を目的に、他の障害者就労支援機関等や障害者雇用を進めている企業の取り組み事例などを学び、支援担当職員のレベルアップを図った。

参加職員 延べ 47人

指導員研修（その他）

関係機関・団体の主催する研修等に参加して、障害の特性や福祉・労働関係法制度等に関する知識の修得を行った。

参加職員 延べ 78人

## 5 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業（第5号事業）

### 就労移行支援事業の実施

#### 利用対象者の把握

区内の福祉施設、福祉事務所、特別支援学校、保健センター、中部総合精神保健福祉センター、杉並区主催の障害者通所施設入所調整会議等との情報交換を通じて、企業等での一般就労の意向がある障害者で、職業準備性の訓練を必要とする就労移行支援事業利用対象者の把握に努めた。

#### 職業準備訓練の実施

一般就労希望の障害者が、就労に必要な知識・能力と働く意識の向上を図るための訓練を通じて就職し、安定した職業生活をおくることができるよう支援を実施した。

障害者の特性と一般企業が求める障害者雇用での業務内容とをマッチングするために必要な訓練プログラムを開発し、障害者雇用で求めるビジネスマナー研修、コミュニケーショントレーニング、パソコン訓練、区内企業・事業所での清掃訓練などのプログラムを導入することで、職業準備訓練をより多様で実践的な内容で実施し、利用者の就労意欲を高めるサービス提供の充実に取り組んだ。特に、障害別のプログラムも取り入れ障害特性をより考慮した訓練を行った。

また、利用者の特性、就職に向けた能力の向上などの評価を3カ月ごとに行い、利用者の適性を踏まえた企業開拓に力を注いだ。

利用対象者（定員）	20人
就職者数 合計	11人
障害別内訳 知的障害	6人
精神障害	4人
発達障害	1人

## 事業報告の附属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないので作成しない。